

## デルフィニウム・ベラドンナ系苗の秋から春出し栽培法

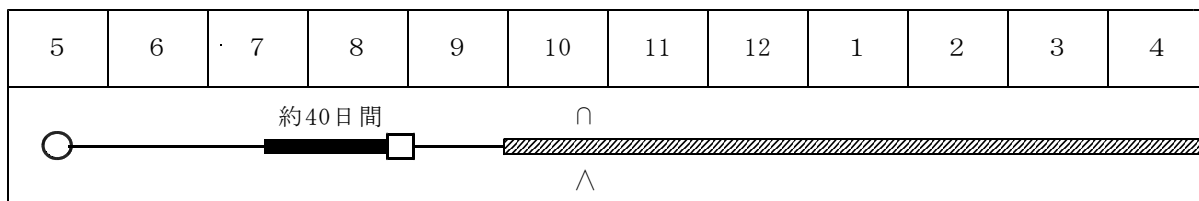
園芸試験場

### 1 取り上げた理由

デルフィニウム・ベラドンナ系苗の秋出し栽培における品種と夜間低温処理終了時の最適葉数（最適低温処理期間）について検討したところ、適品種と秋から翌年の春まで、切り花品質の向上と良花本数増の成果が得られたので普及技術とする。

### 2 普及技術

- 1) 品種「クリプトンビューティー」と「カサブランカ」とする。
- 2) 本葉2枚展開後から本葉8～9枚まで15℃の低温庫で夕方5時から翌朝9時まで夜間低温処理を行う。
- 3) 2)の処理を行うことにより、春までにa当たり「クリプトンビューティー」では4,290本、「カサブランカ」では8,270本採花することができる。



凡例 ○：は種 □：定植 ■：夜間低温処理(15℃) ▨：収穫 □：加温(最低10℃) △：電照

図-1 作 型

### 3 利活用の留意点

- 1) 発芽を斉一にするため暗黒条件下では種後3日間は25℃、その後発芽するまで15℃とする。
- 2) 7月～9月は被覆資材のタフベル等で遮光する。
- 3) 育苗時のセルトレーの大きさは、128穴より72穴の方は初期生長量が容易に確保できることから品質の良い切り花が得られる。

(問い合わせ先：宮城県園芸試験場 栽培部 022-383-8132)

#### 4 背景となった主要な試験研究

##### 1) 研究課題名及び研究期間

寒冷地気象を活用した洋花類の作型開発と安定生産技術の確立  
平成9～11年度

##### 2) 参考データ

表-1 低温処理期間が早期抽だい率及び切り花品質に与える影響(1998年)

試験区 終了時ステージ(低温処理期間)	早期抽だい <sup>Y</sup> 率(%)	切花品質		
		切花 長(cm)	切花 重(g)	小花 数(輪)
クリブドンビューティー				
本葉8～9枚(42日)	21	80	33	8.8
本葉6～7枚(36日)	24	73	30	8.5
本葉4～5枚(15日)	39	68	27	8.4
カサブランカ				
本葉8～9枚(42日)	13	92	40	12.4
本葉6～7枚(36日)	20	79	36	10.3
本葉4～5枚(15日)	31	75	30	10.0

注) 10月31日調査打ち切り。Y: 採花本数に対する50cm以下の切り花の割合。

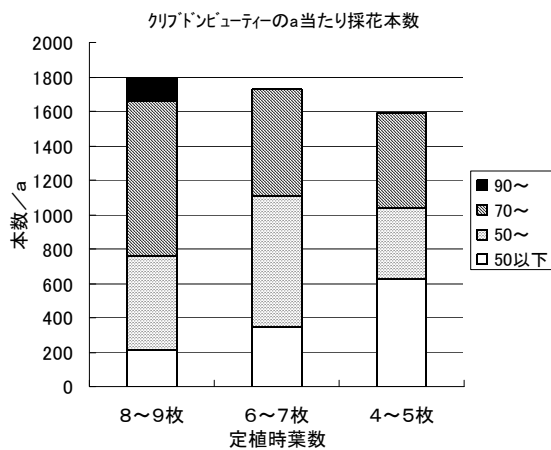


図-2 クリブドンビューティーの10月におけるa当たり採花本数

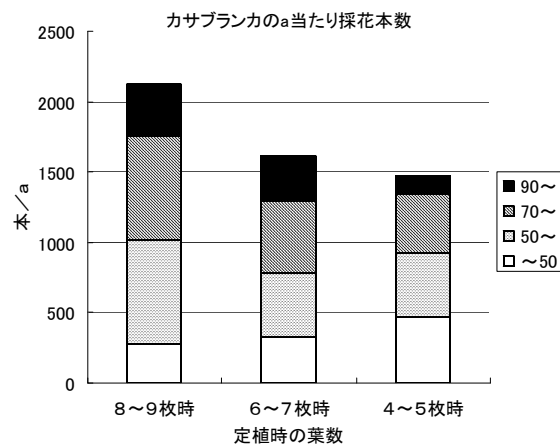


図-3 カサブランカの10月におけるa当たりの採花本数

表-2 a当たりの商品花(切り花長50cm以上)本数と株当たりの良花本数(1998年)

	商品花本数(本)			株当たりの <sup>Z</sup> 良花本数(本)
	年内まで	1月～6月	合計	
クリブドンビューティー				
本葉8～9枚(42日)	2145	2145	4290	1.3
カサブランカ				
本葉8～9枚(42日)	2864	5359	8270	3.0

注) Z: 定植した株に対する切り花長70cm以上の切り花の本数

#### <耕種概要>

は 種: 本葉8～9枚区: 5月13日, 本葉6～7枚区: 5月27日, 本葉4～5枚区: 6月9日  
セルトレイ(72穴)1穴2粒蒔き 用土はメトロミック360  
夜間低温短日処理: 本葉2枚時から定植日まで夜間(17:00～9:00)15℃・暗黒で育苗。  
定植: 8月7日 ベッド幅80cm, 通路50cm, 条間20cm, 株間20cm, 4条植え, 1200株/a  
管 理: 最低気温10℃以上に管理。

##### 3) 発表論文等

平成10年度東北地域研究成果情報  
平成11年度園芸学会東北支部会